

### 大阪教育大学

GIER 委員会

アセスメントG

運営指導委員会

事業検証委員会

国内外協働大学

国内協働機関

カリキュラム開発

ALネットワーク運営会議

海外連携校

国内連携校

カリキュラム開発  
拠点校 平野校舎

共同実施校 池田校舎

評価指標開発

グローバル人材  
(既存尺度PROG-Hおよび  
平野校舎開発尺度G-PAD活用)  
イノベティブ人材  
(Anticipation-Action-Reflection :  
AAR評価指標の新規開発)

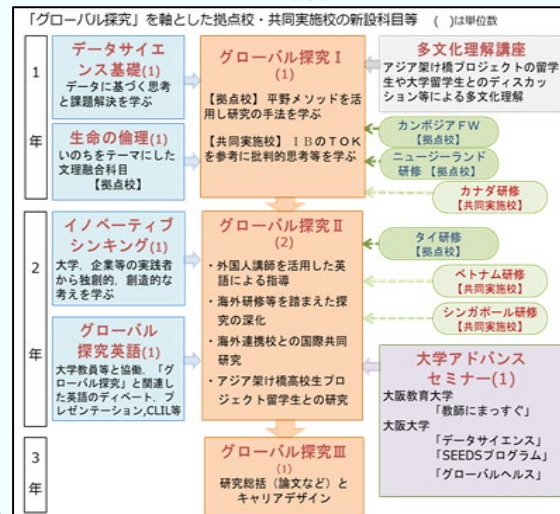
【SDGsに関するグローバル探究】  
【データサイエンス基礎】  
【イノベティブシンキング】  
【海外研修】 【多文化理解講座】  
【Lunch Time Chat】  
【大学アドバンスセミナー】等

対面+オンラインによる高校生国際会議

オンデマンド配信+チャットによる教員国際会議

### 事業概要

SDGsの課題の理解に必要なグローバル的思考と、その課題解決に向けてイノベティブに思考し、主体的に実践できる人材を育成する。上記の人材を育成するにあたり、主として以下のカリキュラムと、イノベティブな思考に対する評価指標を開発する。



### ●カリキュラム開発

#### <取組状況>

学校設定科目は計画通りに開講し、令和4年度は部分的ではあるが海外研修も実現させた。高校生国際会議も海外連携校はオンライン参加となったが、国内連携校からは対面による参加が実現し、生徒主体で考案したプログラムを展開した。

#### <成果>

学校設定科目や大学との連携科目への関心は高く、グローバル探究ではエビデンスベースの研究活動に既習事項が反映されていた。また教科における探究的な活動の導入も進展した。

### ●イノベティブな思考に対する評価指標の開発

#### <取組状況>

OECDラーニングコンパス2030で提唱されたAARサイクル(【Anticipation(予測)-Action(実行)-Reflection(振り返り)(AAR)Cycle】)の枠組みに基づき、AAR評価指標を新規開発した。今年度までに拠点校・共同実施校、国内連携校の一部からデータを収集・分析・還元した。

#### <成果>

AAR評価指標を用いた調査結果から、入学属性の違いや文理コースの違いによって、生徒の自己認識や経年の変容に差があること、さらにWWL事業の活動参加によって、非認知能力が有意に向上することが明らかとなった。